



## 会長あいさつ

曾於市農業委員会

会長 池田 一 信

農業委員会だよりの発行にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素より農業委員会業務に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨今の農業情勢につきましては、国際貿易機関での協定と国家間の自由貿易交渉により、農業経営にとりましては外国から低価格の農畜産物輸入等によりまして、国内の農産物の価格が左右されているのが現実です。昨年の衆議院選挙の結果、自民党政権から民主党政権に交代となり政権公約として色々な施策が示され、事業仕分けにより各種予算・補助金等の削減が行われ、政策の実行に向けた取り組みがなされています。

一方、米の戸別所得補償制度等新しい制度も設けられ、米作り農家への保護政策も打ち出されました。国内では食料自給率が40%を割り、自給率引き上げのため農地の有効利用を進め、自給率50%確保に向けた政策として農地法も一部改正施行されました。このことから遊休農地・耕作放棄地の解消と無断転用による農地面積の減少を防ぎ、企業による参入の要件が緩和され、条件さえ整えば農業経営が出来るようになり、自給率向上を図る政策が実施されました。

曾於市に於いても、年々農業従事者の高齢化に伴い耕作放棄地が増加し、平成20年度に実施しました農地パトロールの結果、657町歩近い耕作可能な遊休農地が放棄されていることが判明しました。これ等の遊休農地の解消策として、補助事業等を導入し農地に復元し、農家にあっせんする事等考えられます。この様な状況から各関係機関と連携しながら、問題解決にあたり耕作放棄地の減少を図りたいと思います。

農政面に於いては認定農業者との意見交換の場で提起されましたご意見や農政部会等では出されました意見等を集約し、政策提言として市・県・国に対し建議しています。農業委員会としては曾於市の基幹産業であります農業振興を図るため、農地を守る立場から委員間の意志の疎通、統一を図り、与えられた全ての仕事に邁進していきたいと思っておりますので、今後とも皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げます。